



# 水害に備える

毎年、日本各地で台風や大雨による災害が発生し、尊い命が失われています。市内でも、令和元年東日本台風(台風第19号)や平成27年関東・東北豪雨により、住家被害や強風による倒木被害などが多数発生しています。過去の災害からの教訓を踏まえ、風水害に備えましょう。

くわしくは 総務課 防災対策係 ☎0288-21-5166

## ◎災害発生に対する心構え

災害への備えには、自分で自分の身を守る「自助」、近所や地域などで助け合う「共助」、市役所や消防署などの行政機関による「公助」の連携が大切です。生命や財産を守るための備えをしましょう。

## ☑もしものときに備える

いつ起きるかわからない災害の被害を最小限にとどめるため、非常持出品の準備や、ハザードマップを活用して避難場所、避難経路、危険箇所、自治会内の連絡網などを確認しておきましょう。

## ☑気象情報を確認する

気象台では、警報と注意報を市町ごとに発表しています。台風などによる大雨が予想される場合は、周囲の様子に注意して、気象警報などの情報を常に確認するよう努めましょう(※図一)。

また、非常持出品(懐中電灯やラジオ、飲料水・食料など)を用意し、いつでも避難できる準備をしておきましょう。

図1：情報の入手方法

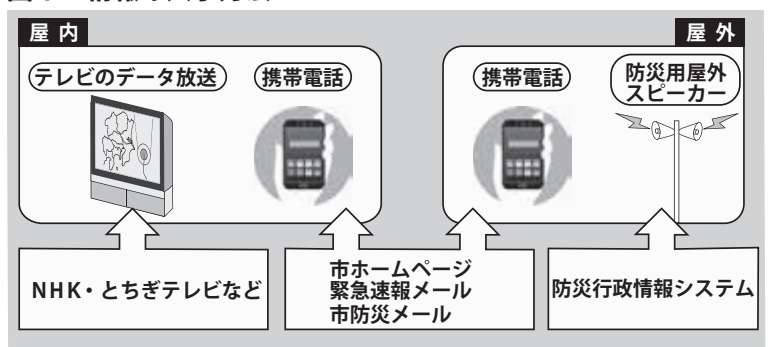


図2：土砂災害の前兆現象

<p><b>土石流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●山鳴りがする</li> <li>●川が濁る</li> <li>●倒木が流れてくる</li> <li>●降雨時、川の水量が減る</li> </ul>	<p><b>がけ崩れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小石がバラバラと落ちる</li> <li>●水が湧き出る</li> <li>●がけや斜面に割れ目が発生する</li> </ul>	<p><b>地すべり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●沢水や井戸の水が濁る</li> <li>●地面にひび割れや陥没が発生する</li> <li>●家具の建て付けに異常が起きる</li> </ul>
---	---	---

## ☑土砂災害の前兆現象(※図2)を確認したら

市役所や消防署に状況を連絡し、自治会長や地域住民など周囲の人たちに注意を促しましょう。

## ☑自主的な避難行動を

土砂災害警戒区域では、常に最新のハザードマップなど

を確認し、危険を感じたら地域で呼びかけ合い、区域外に避難しましょう。その他の地域では、周囲の状況を確認し、避難に関する支援が必要な方の避難に協力しましょう。

また、地域の公民館などの避難場所では、地域内住民の安否確認と情報収集に協力しましょう。

## ☑ 避難の際の注意事項

避難の前には、必ず火の始末をしましょう。また、電化製品の電源を切るだけでなく、ブレーカーを落とすなど、火災の防止に努めましょう。

避難の際の持ち物は背中に背負える程度の最小限にとどめ、両手を自由にしましょう。また、長靴は水が入ると歩きにくいいため、脱げにくい靴がおすすめです。

## ☑ 災害をやり過ごしために

避難は、周囲の状況を確認し、早め早めの行動が大切です。しかし、夜間の豪雨による道路の冠水や土砂崩れなどの発生時は、無理に避難場所まで移動すると、二次災害の恐れがあり、危険な場合もあります。

移動が危険な場合は、自宅の2階に避難(垂直避難)するなど、災害をやり過ごすことも重要です。

普段から家族や地域で話し合い、協力できる体制を築いておきましょう。

## ◎市の防災メール配信をご利用ください

市は、市内の気象や地震などの情報をはじめ、交通情報などの災害関連の情報を皆さんへ伝える手段として、メール配信サービスを行っています(通信料は登録者負担)。災害に備え事前に登録しておきましょう。



防災メール登録  
QRコード▲

## ◎避難場所などの混雑状況を確認できます

市は、今年4月1日から、パソコンやスマートフォンで避難場所などの位置や開設状況、混雑状況をリアルタイムで確認することができるサービス「VACAN Maps」の運用を開始しました。「<https://vacan.com/area/nikko-city-evacuation/evacuation-center/9>」にアクセスまたは、右のQRコードを読み込むことで利用できます。



「VACAN Maps」  
QRコード▲

## VACAN Maps 機能と特徴

### 【地図上一覧ページ】

マップでエリア全体の避難所の場所と混雑状況が閲覧可能です。



### 【避難所一覧ページ】

スマートフォンからは避難所ごとの混雑状況を一覧で閲覧可能です。



### 【施設個別ページ】

避難所の詳細や混雑情報以外の情報が閲覧可能です。

## 混雑状況の表示目安について

平常時は、「利用停止中」の表示ですが、避難場所などを開設した場合には、混雑状況により4段階で表示します。

区分	表示	目安
平常時	利用停止中 【Closed】	避難所などが開設されていない状態
	空いています	収容人数の 0~30%
災害時 (避難所などを開設したとき)	やや混雑	収容人数の 30~60%
	混雑	収容人数の 60~80%
	満	収容人数の 80% 以上かつ受け入れ困難になることが見込まれるとき

# 土のうステーションをご利用ください

くわしくは 消防本部 総務課 ☎0288-21-0186

市は、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨による水害を踏まえ、市内20カ所に土のうステーションを設置しています。設置場所は今市地域に6カ所、日光地域に2カ所、藤原地域に7カ所、足尾地域に1カ所、栗山地域に4カ所です。詳しい場所などは、市ホームページをご覧ください(「日光市 土のうステーション」で検索)。

ステーションには、1カ所につき1袋約15kgの土のうが約60袋入っています。水害時に各家庭で自由に使用してください。なお、使用した土のうは、各家庭で保管をお願いします。

